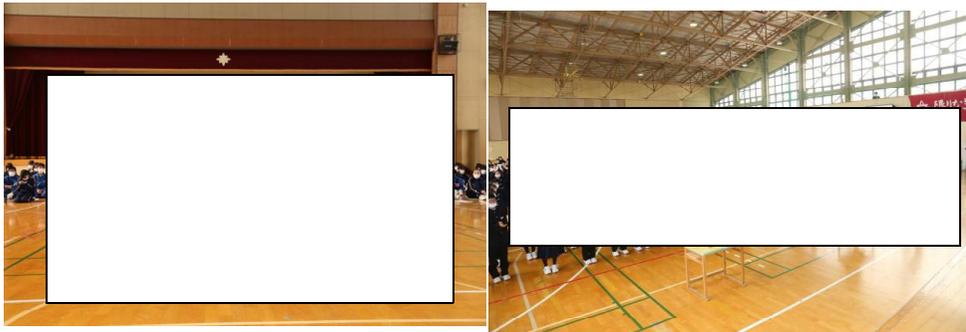


やまびこ通信

山形市立第一中学校
第1学年だより
令和5年4月21日

中学生としてのABCを考え、行動する

今年度の1年生は、「やまびこ学年」です。
「やまびこ」とは、『山の谷などで起こる声や音の反響』をさす言葉です。「あいさつ」と「あたたかい言葉」が響き合う学年にしようということ、4月12日の学年開きで伝えました。日を追うごとに「おはようございます!」「こんにちは!」の明るいあいさつしてくれる人が増え、毎日元気をもらっています。
学年開きでもう一つ話したことは、ABC **A (当たり前のこと)** **B (バカになって)** **C (ちゃんとやる)** です。中学生として当たり前のことほ何か、自分たちで考え判断し、安心して過ごせる学級、学年にしていきましょう。



中学校での授業も始まりました。学習の中心はなんと言っても授業です。毎時間集中し、中学生としての学力を身につけましょう。

< 1年間授業でお世話になる先生方 >

国語	今野 崇 先生	音楽	石原 ゆり 先生
社会	伊藤 直貴 先生	家庭	岡崎 裕子 先生
英語	藤田 梨那 先生	技術	山口 広和 先生
	高橋 美和 先生	美術	伊藤 まり 先生
数学	庄司 和美 先生	保体	柏倉 宏 先生
理科	田口 俊 先生		斉藤 紀子 先生

自分の心にブレーキを! ～みんなが安心して学校生活を送るために～

入学してから2週間が過ぎました。中学校生活にも少しずつ慣れてきたなあと感じます。

反面、廊下で重なり合っふざけていたり、追いかけっこをしている姿を目にします。「危ないなあ。」と思い、声をかけるのですが、「ふざけているだけだから。」と軽く考えている人が少なくないようです。

みなさんに「**ハインリッヒの法則**」(ヒヤリハットの法則とも呼ばれます)を紹介します。

米国の保険会社に勤務していたハインリッヒ氏は、大きなけがの事故が1件起きる背景には、軽い事故が29件起きており、あやうく事故になるような「ヒヤリ」「ハット」する出来事が300件あるという「1:29:300の法則」を発見したのだそうです。

ニュースに流れる世の中の悲惨な事故や事件も、「あと少しがまんしていれば・・・とか、あと少し注意していれば・・・」ということも多いですね。

「ヒヤリ」「ハット」する出来事や「危ないなあ。」と感じた行為を防げば、軽い事故も発生しにくいと言えるのです。「いけないことだと分かっているんだけど、面白いからなかなか止められない。」「やめようやめようと思っているんだけど、誘われると断れない。」「ドキッとした時は注意するんだけど、すぐ忘れてしまう。」ことがあった時は、「もう止めておけ。じゃないと事故が起こるよ。」というサインだと思しましょう。

相手が傷つくようなきつい言葉も同じで、そのうち冗談ではすまなくなるのです。

ちょっとした我慢、ちょっとした注意、ちょっとした思いやりがみなさんの生活を安全で楽しいものにしてくれるのです。



授業参観・PTA総会のお知らせ

<期日> 4月22日(土)

12:45～13:35 授業参観(担任授業)
13:50～14:40 PTA総会(体育館)
14:50～15:20 学年保護者会(2階多目的教室)
15:30～15:45 学級保護者会(123組:3階1年教室)
(4組:4階理科室A)